

## 令和2年度 水道事業会計決算概要

水道事業の最大の使命である「安全で良質な水」を安定してお届けするため、水道施設の計画的な整備や適正な維持管理を実施しました。

なお、経営成績並びに財政状態を明らかにすることを目的として、企業会計方式の経理方法により、管理運営に関するもの（収益的収支）と施設の建設に関するもの（資本的収支）に区分しています。

### 1. 経営成績について

営業利益 △481,905,490円、経常利益 919,809,230円、当年度純利益 917,687,085円となりました。

### 2. 財政状態について

令和2年度末における財政状態は、資産の部合計 46,813,101,979円、負債の部合計 19,863,059,934円、資本の部合計 26,950,042,045円となりました。

### 3. 建設改廃事業について

令和元年度から令和10年度までの第三期水道施設整備計画に基づき、基幹施設の耐震化、経年管の布設替及び経年施設の更新を図りました。

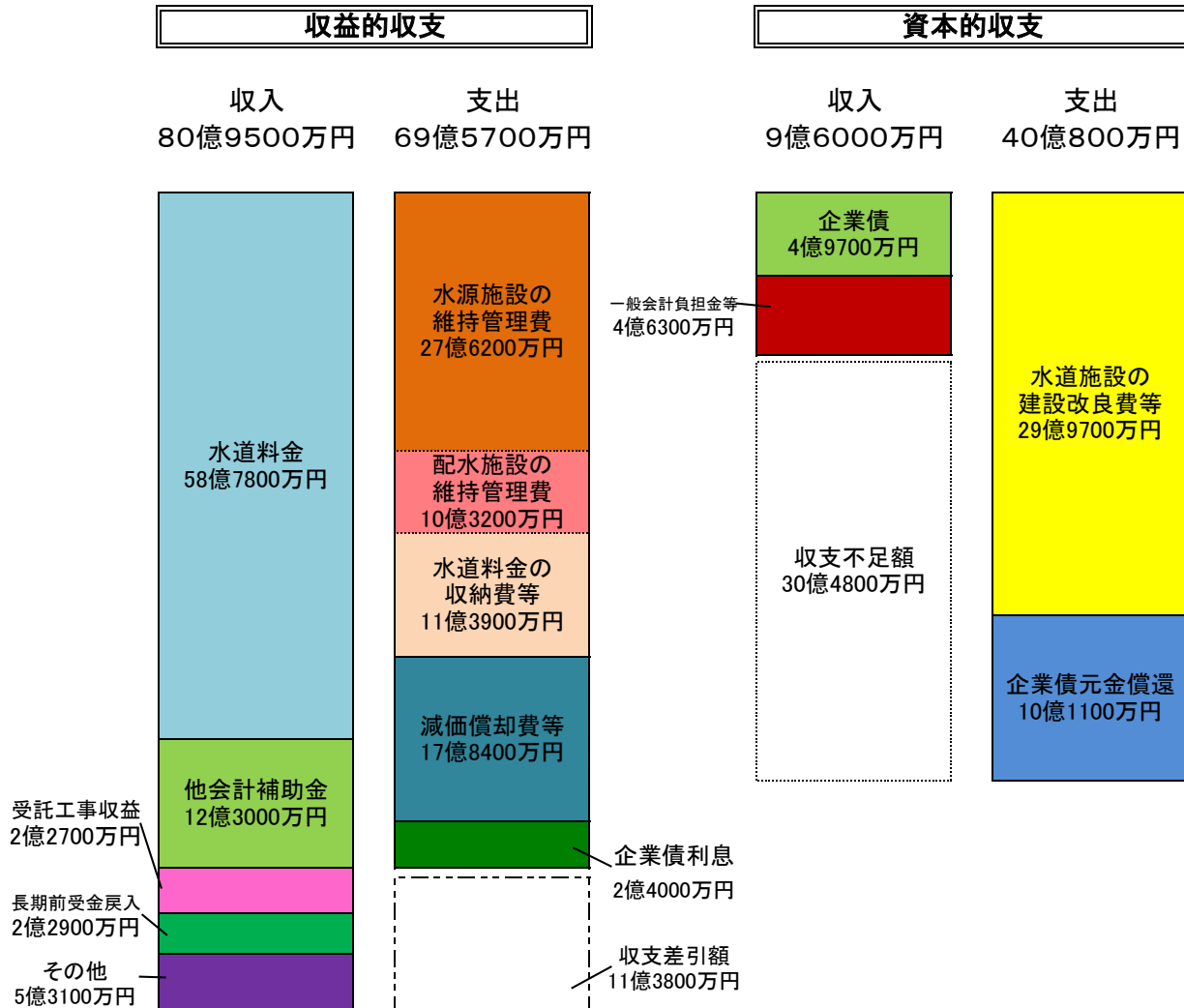
### 4. 業務状況

令和3年3月31日現在

項 目		令和2年度	令和元年度	差引増減
行政区域内人口	人	310,610	311,527	△ 917
給水人口	人	310,577	311,492	△ 915
給水普及率	%	99.99	99.99	—
年間有収水量	m <sup>3</sup>	31,903,243	35,386,174	△ 3,482,931
年間配水量	m <sup>3</sup>	40,066,902	39,348,609	718,293
1日最大配水量	m <sup>3</sup>	120,780	118,843	1,937
1日平均配水量	m <sup>3</sup>	109,772	107,510	2,262
職員1人当たり給水人口	人	4,197	4,267	△ 70
職員1人当たり有収水量	m <sup>3</sup>	431,125	484,742	△ 53,617
供給単価	円	167.48	185.39	△ 17.91
給水原価	円	193.66	167.76	25.90

## 5. 財政状況

※税込



### 《収益的収支》

収入 管理運営経費の財源である収益的収入は、水道をご利用になられる皆様にご負担いただく給水収益が全体の73%。また、新型コロナウイルスに伴う経済支援策として、水道料金の基本料金減免を実施したことで一般会計から受け入れた他会計補助金が全体の15%を占めています。

支出 水源施設及び配水施設の維持管理費が55%、水道料金収納費等が16%、減価償却費等が26%、企業債利息が3%です。

### 《資本的収支》

収入 資本的収入は、将来の経営活動に備えて行う施設・整備の建設改良及び企業債償還の財源で、企業債が52%、一般会計負担金等が48%です。

支出 水源施設及び配水施設の更新のほか、第三期水道施設整備計画による建設改良の費用等が75%、企業債の元金償還が25%です。

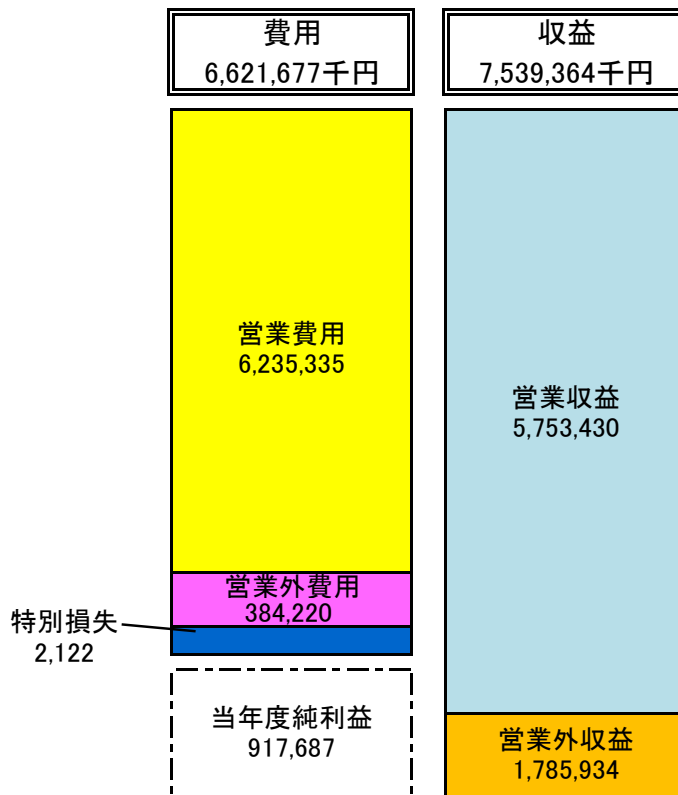
なお、収支不足額は、前年度の利益や減価償却費などで補填しています。

# 損益計算書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

単位:千円(税抜)

費用の部		収益の部	
<b>営業費用</b>	<b>6,235,335</b>	<b>営業収益</b>	<b>5,753,430</b>
原水及び浄水費	2,524,009	給水収益	5,343,225
配水及び給水費	976,639	受託工事収益	227,234
受託工事費	211,684	その他	182,971
業務費	385,800	<b>営業外収益</b>	<b>1,785,934</b>
総係費	353,030	受取利息及び配当金	1,753
減価償却費等	1,784,173	他会計補助金	1,229,554
<b>営業外費用</b>	<b>384,220</b>	消費税及び地方消費税還付金	14
支払利息	240,136	長期前受金戻入	229,483
その他	144,084	貸倒引当金戻入額	36,171
<b>特別損失</b>	<b>2,122</b>	雑収益	288,959
過年度損益修正損	1,678		
その他特別損失	444		
<b>費用の部合計</b>	<b>6,621,677</b>	<b>収益の部合計</b>	<b>7,539,364</b>
<b>当年度純利益</b>	<b>917,687</b>		
<b>合計</b>	<b>7,539,364</b>	<b>合計</b>	<b>7,539,364</b>



損益計算書は1事業年度における企業の経営成績を明らかにするために、その年度中に得たすべての収益からそれを得るのに要した費用を差し引くことによって損益の発生原因とその期間の純損益を表した報告書です。

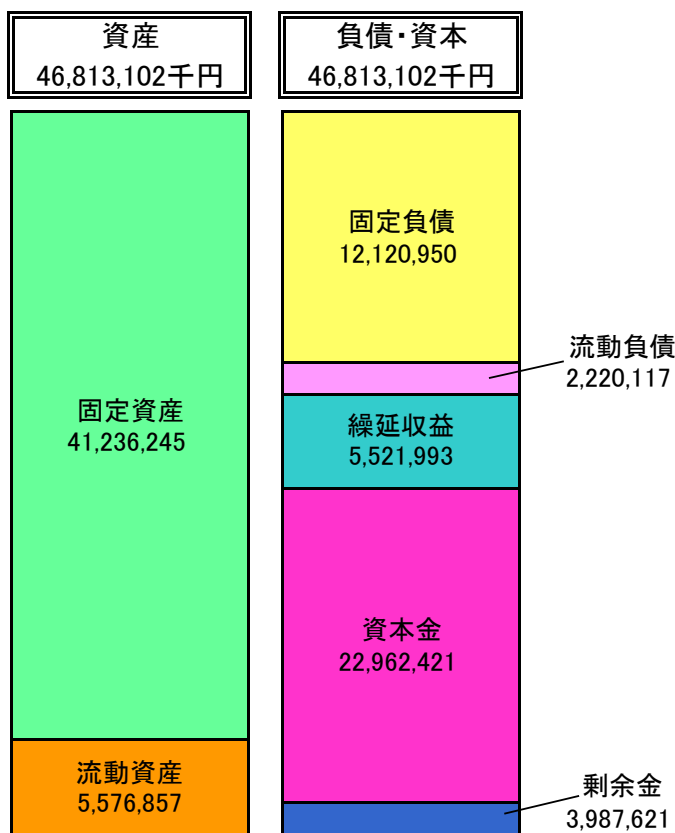
給水収益(水道料金収入)は、9.2億円の利益を確保できました。この利益は水道施設の整備に伴い借り入れた企業債の償還に充てています。

# 貸借対照表

(令和3年3月31日)

単位:千円(税抜)

資 産 の 部		負 債 の 部	
<b>固定資産</b>	<b>41,236,245</b>	<b>固定負債</b>	<b>12,120,950</b>
有形固定資産	41,232,452	企業債	11,167,447
無形固定資産	3,793	引当金	953,503
<b>流動資産</b>	<b>5,576,857</b>	<b>流動負債</b>	<b>2,220,117</b>
現金預金	4,201,841	企業債	1,023,845
未収金	1,107,296	未払金	1,056,200
貯蔵品	72,240	預り金等	140,072
前払金	195,480	<b>繰延収益</b>	<b>5,521,993</b>
		資 本 の 部	
		<b>資本金</b>	<b>22,962,421</b>
		自己資本金	22,962,421
		<b>剰余金</b>	<b>3,987,621</b>
		資本剰余金	96,520
		利益剰余金	3,891,101
<b>資 産 合 計</b>	<b>46,813,102</b>	<b>合 計</b>	<b>46,813,102</b>



貸借対照表は、企業の財政状態を明らかにするため、年度末において保有するすべての資産、負債及び資本を総括的に表した報告書です。

令和3年3月31日現在、資産（正の財産）のうち88%を有形固定資産（土地、建物、構築物等）が占めています。また、その資産が何によって形成されているかを示しているのが負債・資本です。